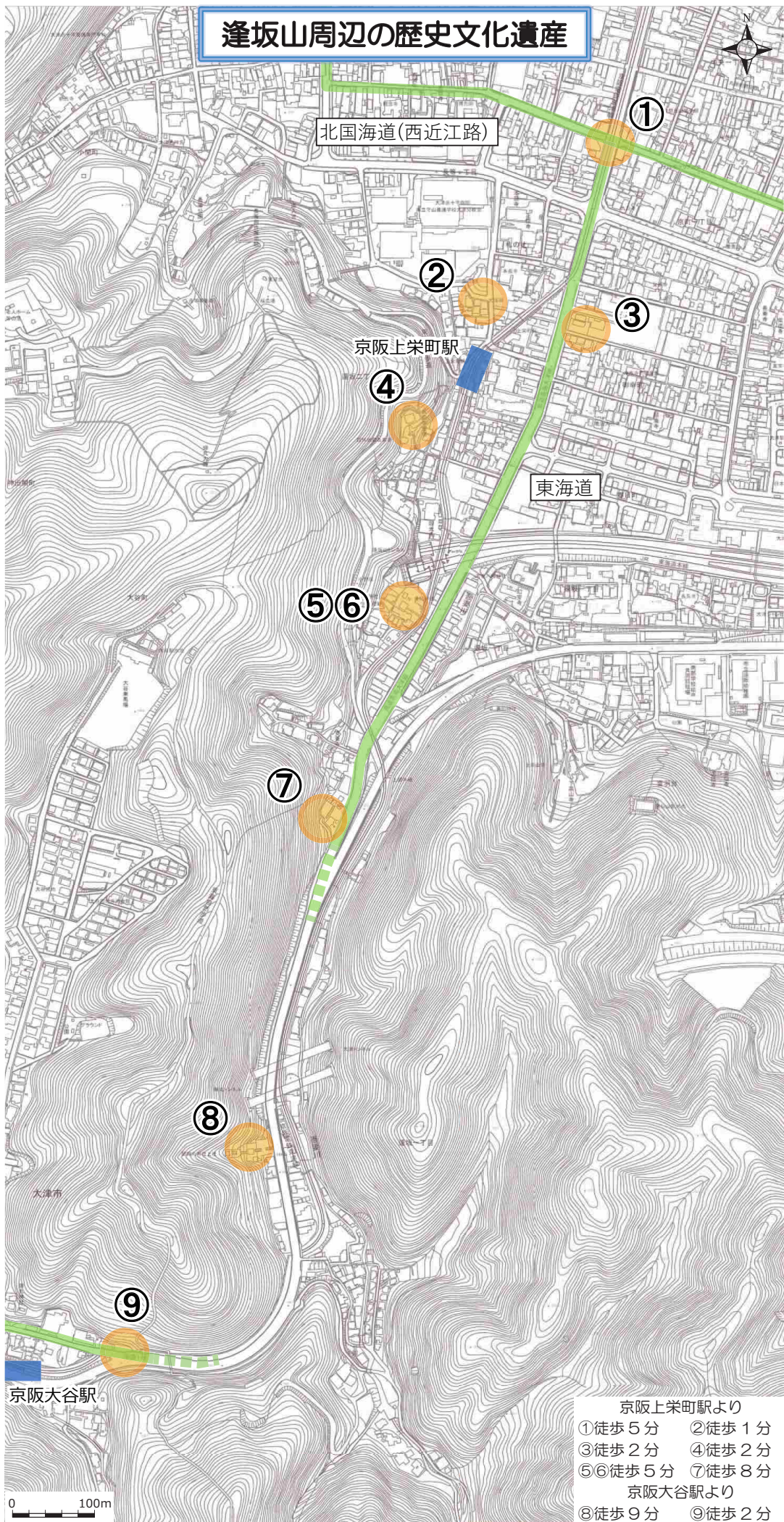


逢坂山周辺の歴史文化遺産



① 札の辻
 東に向かう東海道と、西に向かう北国海道(西近江路)の分岐点。大津宿の中心で高札場や人馬会所が置かれた。

② 犬塚の櫓 (市指定文化財)
 蓮如が毒殺されかけた時、身代わりとなって死んだ忠犬を埋めた塚に、櫓を植えて吊ったという伝説がある。

③ 大塚本陣跡
 大津宿には、本陣が2軒、脇本陣が1軒あった。大塚本陣の跡には「明治天皇旧跡」碑が建つ。

④ 長安寺の宝塔 (国重文)
 鎌倉時代初期につくられた石造宝塔。関寺の牛塔とも呼ばれ、『関寺縁起』にある霊牛の供養塔と言われる。

⑤⑧ 関蟬丸神社 (上社・下社)
 坂上と坂下に「坂神」が祀られ、関の守護神として関明神と呼ばれた。後に琵琶の名手である蟬丸の霊を合祀し、関蟬丸神社と呼ばれるようになった。

⑥ 小町塚
 六歌仙の1人で絶世の美女とうたわれた小野小町が、年老いてから関寺辺りに住んだとの伝説があり、関蟬丸神社下社の裏手に石碑が残る。

⑦ 旧逢坂山トンネル
 明治13年(1880)日本人技術者のみの手によって、京都と大津を結ぶ全長約664mの鉄道トンネルとして開通。

⑨ 逢坂関跡碑
 平安時代に逢坂関が置かれ、有事の際には関を閉じて警護した。江戸時代には大津—京都間に牛車専用路である車石が敷設された。

- 京阪上栄町駅より
- ① 徒歩5分
 - ② 徒歩1分
 - ③ 徒歩2分
 - ④ 徒歩2分
 - ⑤⑥ 徒歩5分
 - ⑦ 徒歩8分
- 京阪大谷駅より
- ⑧ 徒歩9分
 - ⑨ 徒歩2分